

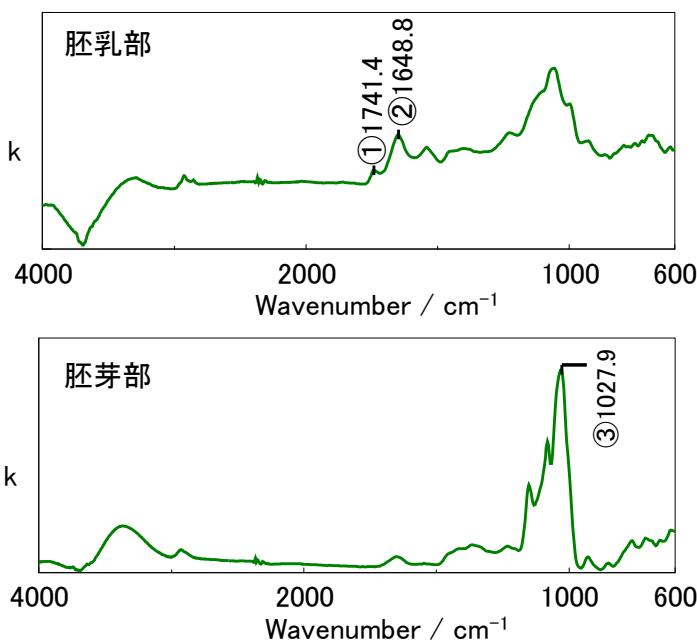
モミ米の顕微赤外イメージング

KS-10型断面出しスライサーを用いるとモミ米のような小さなサンプルを長辺方向にカットすることも可能です。顕微赤外分光法によりコメ内部のタンパク質・脂質・でんぶんの3成分の成分分布を調べることができます。

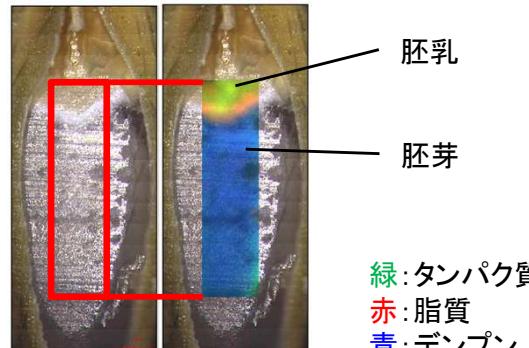
KS-10型断面出しスライサーによる
モミ米の切断



モミ米断面の正反射スペクトル(KK変換済み)



①脂質、②タンパク質、③でんぶん



モミ含有成分の分布
(顕微FT-IRでの観察画像)

Condition

顕微反射法, 8 cm⁻¹, 128回積算, 日本分光製赤外顕微鏡使用
アーチャサイズ100 × 100 μm, 測定領域600 × 2300 μm
KS-10型断面出しスライサー使用

Master's Memo

- KS-10で作成した断面を正反射法で測定し、測定スペクトルをKK変換して分布を確認しました。
- 部位により、タンパク質・脂質・でんぶんの分布が異なることがわかりました。